

# 会津大戸沢岳

会津尾瀬

1995年3月27日

メンバー: L岩 毅 手塚紀恵子, 山村高也

3/27 晴のち曇 今年、登山口にまだ  
2m近い積雪がある。

宿の御主人によると例年より1m以上多いと  
のこと。

登山口からはやはりシュプールがたくさん  
あり、いつも登りに使うルートにもしかり  
トレースがあったのでそのまま使わせてもら  
う。今朝は檜枝岐で-10℃まで冷え込み一  
部クラストしておりスキーアイゼンを使う。  
今期2度目の会津駒は、また、快晴だった。  
大戸沢岳まで、そのまま、シールで進む。快  
適な稜線散歩だが、天候が下り坂なのが気  
になる。大戸沢岳北端14時、天候は、まだ晴  
れ、西方の山は霞みつつあるが東方の山には  
春の陽がよくさしている。

滑り出しはややウインドクラスト気味だっ  
たが快適にスキーを滑らす。しかし、下るに  
つれて、クラストがきつくなり、ついには、  
全面完全モナカ雪となる。しかも、山頂から  
離れるにしたがいサインカーブを描くように  
斜度がきつくなる。全面完全モナカ+無立木  
大斜面+30度急斜面である。くやしかな  
、回せない。仕方なく斜滑降、キックターン  
で下る。心の中では、今度また来るぞ、今度  
は回してやるぞ、と叫びながら。大戸沢尾根  
は木が密集しており、桑場小沢にはいる。こ  
の沢は思ったより広く快適である、もちろ  
ん、水は雪の下、白銀の斜面が続く。大戸沢岳  
からの滑降ルートとしては、この桑場小沢を  
使う方が適当に思える。桑場小沢から下大  
戸沢の出合は、桑場小沢側が少し切れている。  
このため、いったん南側の大戸沢尾根側の台  
地に上がってから下大戸沢に滑り込むと良い  
。この下大戸沢もとても明るく広い沢で、こ

れまた気持ちが良い。また、ここからのぞむ  
大戸沢岳から三岩岳の稜線は鋭いひださえ見  
せて、会津駒とはまた違った印象を与える。  
三岩沢は雄大で、もし滑降できれば素晴らしい  
が、雪崩には十分注意が要るだろう。広い  
下大戸沢を快適に滑り、下大戸沢スノーシェ  
ッドの檜枝岐側出口に出る。沢をうまく使っ  
たおかげで、モナカにもかかわらず標高差12  
50mを1時間45分で下る。さらにラッキーな  
ことに、国道に下りてすぐに檜枝岐行バスが  
来て、あっという間に宿に戻れた。天気はず  
でに曇りだが、なんとか保った。

(タイム)檜枝岐7:40 (車) 滝沢橋(930m)8:00--  
TV塔(1370m)9:30--1700m点11:00--1950m点12  
:00--会津駒山頂(2132.4m)13:05--大戸沢岳  
(2089m)13:50--同北端14:00, 14:25 ~ 桑場  
小沢上部(1680m)15:25 ~ 桑場小沢(1100m)  
15:55 ~ 下大戸沢スノーシェッド(840m)16:10, 16:  
15 (バス) 檜枝岐16:30 (岩 毅 記)

